

## JEMEA 活動報告



# JEMEA Sympo2020@オンライン開催 報告

## The Report on JEMEA Sympo2020@Online

株式会社科学技術研究所 藤田明希

Science & Technology Inst., Co. Ltd. Aki Fujita

〒102-0083 東京都千代田区麹町 3-5-4

e-mail : aki@kagiken.co.jp

## JEMEA Sympo2020@オンライン会場

-SDGsを目指す電磁波エネルギー応用研究と研究者の未来を拓く

会期：11月5日～11月6日

同時開催 科学機器展示@オンライン



**開催までの経緯** 2019 年中に 2020 年 11 月 4 日～6 日の 3 日間、慶応義塾大学日吉キャンパス来往舎におけるシンポジウム開催が理事会で決定された。藤田明希（科技研 以下敬称略）を委員長とし、山田徹（慶応義塾）、岡本昌樹（慶應義塾）、福島潤（東北大）の 3 人を委員として実行委員会を立ち上げた。2019 年 12 月には会場の下見を行い、例年通りの開催が可能であることを確認し 1st サーキュラーを公開した。2020 年には COVID-19 の中国武漢における流行が報じられたが、楽観的予測を基に現地開催準備を進めた。しかし 3 月に政府の外出自粛要請に続き、現実的に現地開催不可能となった 6 月末にオンライン開催への移行を決定した。

当学会で初めてのオンライン開催であり様々な不確定要素があったが、ツールの長足の進歩は幸運であった。Zoom の採用を決めオンライン学会経験者から情報提供いただいた。当学会理事三谷友彦（京都大学）に技術協力頂き、池永和敏（崇城大学）にオブザーバーとして様々な意見を頂いた。開催 HP 作成や複数回のリハーサルなど準備は順調に進んだ。一方で実行委員長は「Zoom に接続できない悪夢を見る」など眠りの浅い日が続いた。

**シンポジウムに関する報告** 参加者数及び発表件数を表 1～3 に示す。参加者及び発表者は

激減が予想されたが、参加者数（120名）は微減に留まった。オンライン開催の性質上、遠隔地からの参加が容易な点が活かされたと考えられる。

口頭発表は例年の2/3程度、ポスター発表は激減した。COVID-19の影響が特に学生の研究進捗に顕著だったことが原因である。

懇親会は60名の参加登録があった。入退室自由のため参加状況を実行委員会で確実に確認できておらず参考データとして付記する。

**成果と反省** 初めてのオンラインシンポジウムを多数の参加者を得て大過なく終了できた点は成果である。一方、懇親会時の企業小部屋がうまく

活用できない、また準備不足から機器展示への正確なアクセス数を把握できなかったなどの反省点について機器展示出展企業の皆様にお詫びいたします。今後のオンラインイベントでの注意点として必ず改善されるよう引継ぎます。

**各賞授賞** 研究奨励賞について2A09（西岡ら）は研究奨励賞での得票1位であっただけでなくプレゼンテーション賞でも複数得票し群を抜いた評価を得た。ベストプレゼンテーション賞は巧みなプレゼンテーションが評価を得た1B05（武藤）に授賞した。次点の2A04（中谷ら）は今後の研究進展が期待される。ベストポスター賞はP09（臼井ら）に決定した。但し、授賞筆頭者は実際に発表した尾崎誠（敬称略）とした。研究内容に加えて初めてのオンライン発表にもかかわらず明快な発表と質疑応答が評価された。

**開催御礼** 本シンポジウムの開催に当たり、オンライン機器展示及び要旨集への広告出稿でご協力いただいた企業、協賛団体としてご協力いただいた団体に感謝いたします。またJEMEA事務局佐藤様には関連事務を滞りなく進めていただきましたことを感謝します。

最後に発表、参加、ご協力いただいた全ての皆様に、実行委員会から最大限のお礼の気持ちをお伝えして本稿を終わりにします。

表 1. 業種別参加者数

業種別	参加者数
産業界	57名
官	11名
学	52名
計	120名

表 2. 会員・非会員別参加者数

種別	参加者数
会員	94名
協賛団体会員	2名
非会員	24名
計	120名

表 3. 各発表件数

種別	参加者数
特別講演	4件
JEMEA 進歩賞受賞記念講演	1件
口頭発表	42件
ポスター発表	10件
機器展示企業による会社・製品紹介	5件
計	62件